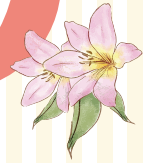




みのお市議会だより

2026.6.1 vol.143



第1回定例会号(2月議会)



手植え〈止々呂美地区〉 撮影：箕面市美術協会 大西 貞夫さん

今定例会の焦点

市民生活のさらなる充実をめざして
～令和8年度当初予算を可決～



大阪広域水道企業団との統合に向けた議案など重要案件を審議

令和8年度当初予算などを審議する第1回定例会が開催されました。

とりわけ熱心に議論が交わされたのが、大阪広域水道企業団との統合に向け、同企業団の規約変更について協議する議案です。専門人材の不足や物価高騰といった厳しい環境下でも、質の高い水を安定して供給し続ける体制をどのようにして維持するか、議案を付託された建設水道常任委員会では、水道事業の課題や統合によるメリット、災害時における自治体間での応急給水や復旧支援の相互応援体制などの質疑が行われ、本会議においても慎重に議論を重ねた結果、賛成多数で可決しました。

統合によって国からの交付金が得られるため、水道料金の値上げ額の抑制や値上げ時期を遅らせることが可能になります。市議会としても、安全・安心な水の安定供給に向け、引き続き水道事業を注視してまいります。

他にも、性的マイノリティの当事者同士が互いを人生のパートナーとすることを宣誓した事実を市が証明する「パートナーシップ宣誓証明制度」の導入や、市立小・中学校在籍の児童生徒を対象に国の交付金を活用する「学校給食費の無償化」、止々呂美・箕面森町地域の住民に対する箕面グリーンロードの通行料助成、市民歯科健診の対象者の拡大など、市民生活の充実に向けたさまざまな議案が提出され、各常任委員会で活発な議論が繰り広げられました。

この他、今定例会では、条例案件や補正予算など計46件を審議し、採決に付された議案は、いずれも提案どおり議決しました。

▶ **今定例会で話題となった案件について、審議の流れに沿って動画をまとめています。**

- 大阪広域水道企業団との統合について審議



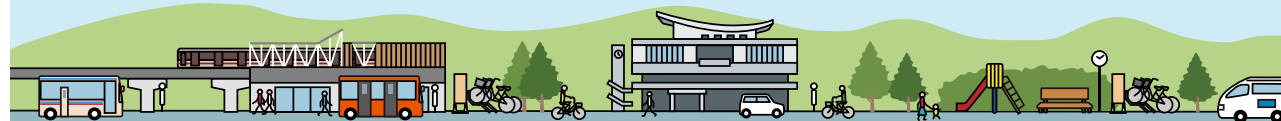
第1回定例会(2/19～3/26)の議案

- 当初予算…11件 ●条例案件…16件 ●補正予算…9件
 - 報告案件…3件 ●人事案件…2件 ●その他…3件
 - 議員提出議案…2件(条例案件1件、規則改正1件)
- 議案の詳細は、市議会ホームページ「会議情報・結果」をご覧ください。

今定例会で行われた議論の主な内容は、下記のページで紹介しています。

- 4p **代表質問**…新年度市政に関する質問・提言
- 8p **常任委員会**…議案審査で行われた質疑
- 10p **討論**…議案に対する賛成・反対の表明
- 12p **一般質問**…市政全般に関する質問・提言

将来を見据えた公共交通網へ 議会が市に提言！



北大阪急行線延伸に伴うバス路線網の再編に対して厳しい声が相次いだことを受け、市議会はバスをはじめとした公共交通の在り方を独自に調査・研究し、全政策会派一致のもと令和8年2月4日、市長に政策提言書を提出しました。本特集では、バスに関する提言・要望にフォーカスし、その内容をご紹介します。

【STEP①】どんな現状でどんな課題があるのか

「公共交通を取り巻く現状と課題」について関係事業者にお話を伺いました。

【阪急バス株式会社】

- ・少子高齢化による利用者減少などから**黒字路線を含めた減便・廃止が避けられない**状況
- ・運転士不足など**金銭では解決できない**問題が多く存在する

【STEP②】今後めざすべき姿とは

「新駅を中心としたまちづくりと公共交通の在り方」について学識経験者にお話を伺いました。

【公益社団法人日本交通計画協会】

- ・利用者需要だけでなく、**まちづくりの視点から逆算して交通サービスを設定**することが必要
- ・公共交通を「まちの骨格軸」と位置付け、**各交通手段の役割分担を明確に**することが効果的
- ・案内表示看板やサインなどの**デザインの統一化**を進め、**利用者の利便性を高める**ことも重要

【STEP③】市に求める公共交通網の在り方

①と②でのお話を念頭におき、箕面市の今後の公共交通網の在り方について、短期、中期、長期のそれぞれの視点で課題を整理し、議会としての考えを取りまとめました。
計14回の会議を通して議員で熟議！！

【STEP④】市長に政策提言書を提出！



政策提言書の
詳細はこちら
をチェック！



バスに関する要望の一部をご紹介します。

これ以上の路線縮小にならないよう、持続可能性を高めるための取り組みを！



① ルート・便数

- オレンジゆずるバスの収支目標と評価方法の検証を！
- 市民、事業者と連携したバスの利用促進を！

② 快適性

- ルートや時刻案内などの表記を分かりやすく、統一的なものへの改善を！
- バス停をどこに配置すればより利用しやすくなるかの検証を！

③ 料金負担が多い地域に対して

- 鉄道への乗り継ぎを含む料金格差の是正を！
- オレンジゆずるバス運行の有無による格差の是正を！

～令和8年度の市政の運営方針と予算を問う～

新年度における市政の運営方針と予算に関する考え方を述べた市長の「施政及び予算編成方針」に対し、各政策会派の代表者が質問を行いました。
代表質問の主な内容をお知らせします。



全ての代表質問を動画で視聴できます

箕面市議会

検索

動画の内容は公式記録ではありません。



代表質問

第1回定例会では、市長の「施政及び予算編成方針」に対する代表質問を行います。

「施政及び予算編成方針」演説



代表質問



箕面の未来をひらく会

もちやま てる
桃山 悟 (質問者)
武智秀生



市制施行70周年から未来への発展 ボートレース事業の功績と将来

問 昭和31年12月1日、人口34,804人で誕生した本市は、令和8年で市制施行から70年を迎える。全国的に少子高齢化・人口減少が進む中、人口は14万人を超えた。市の発展に尽力したかたがたへの思いと今後のまちづくりの展望は。

答 本市の発展は、箕面の魅力を築き上げてきた市民とまちづくりに取り組まれた土地所有者あってのことであり、心より敬意と感謝を表する。今後も守るべき箕面の良さを大切にしながら、持続可能なまちづくりを進めていく。

問 70年を顧みた時、鉄道や道路、学校や病院などの整備に寄与したボートレース事業の功績は極めて大きい。今後も収益確保に努め、新市立病院の整備や各事業へ役立ていく必要があるが、ボートレース事業の歩みと将来の展望は。

答 事業開始当初は厳しい経営状況だったが、5年目の昭和33年以降赤字に陥ることなく、バブル期には70億円を一般会計に繰り出した。生み出される収益は今後も本市のまちづくりを支える貴重な財源であり続けることを確信している。



他の 質問事項

- 水道事業を大阪広域水道企業団に統合する理由
- 市立病院跡地に新設する学校の校区再編への見解
- みのお地域クラブ活動の展開
- 非行の防止と解決に向けた保護司や少年補導補助員の役割
- 宅地に囲まれた市街化調整区域の将来に向けたまちづくり
- 自治会の防犯カメラ更新費用に対する補助率検証の必要性
- 阪急バスとオレンジゆずるバスの路線網の最適化と見直し
- 完成間近の消防署萱野分署の消防力と救急対応の向上策

など

日本共産党

むらかみ まみ
村川 真実 (質問者)
金森 いずみ



物価高騰から暮らしを守り 医療福祉の充実と防災力向上を

問 東部地域ではデータセンターをはじめとする開発が進んでいる。排熱などによる環境への影響について、事業者から市への定期報告を義務付け、市民に情報を明示する制度が必要と考える。新たな条例やガイドラインを整備する考えは。

答 排熱対策などは法令上報告義務はないが、環境配慮については既存の関係法令の遵守を求めている。箕面市まちづくり推進条例にて、既に説明会開催などを義務付けていることから、新たな条例やガイドラインを制定する予定はない。

問 パブリックコメントでは桜ヶ丘浄水場の存続を求める声が多くあった。自己水源の減少は災害時のリスクを高めるのではないかと。水は単なるコストの問題ではない。市民の命を守る体制が確実に担保されるのか、見解を。

答 災害時の飲料水は箕面浄水場で十分確保可能であり、老朽化などの課題が深刻化する桜ヶ丘浄水場の存続よりも、重要管路や施設の耐震化など、水道インフラ全体の強靱化を優先することが災害に強いまちづくりにつながると考える。



他の 質問事項

- 水道基本料金減免や電気代支援の検討状況と生活支援策
- 補聴器購入補助制度の創設
- 特別養護老人ホーム待機者の現状と建設による受け入れ見込み
- 学校給食費無償化の継続可能性
- 待機児童数の推移と偏在状況
- 保育士確保策の効果と課題
- 中学校部活動の地域展開による影響と子どもたちの声の反映
- 中学校35人学級の全学年実施
- バス路線網の最適化
- 小・中学校のトイレ個室への生理用品設置の実施
- 非核平和都市宣言の理念

など

箕面政友会

たかはし りょうま
高橋 竜馬 (質問者)
大脇 典子、中嶋 三四郎



学校給食費無償化と交通支援、 暮らし政策の真価

問 小・中学校の給食費無償化は市民にとってインパクトのある事業だが、今後の財政環境次第では重い固定費となる。無償化の財源を中期的にどう安定確保していくのか。また、物価高騰時における対応方針について市の見解は。

答 給食費無償化の財源については、大阪大学跡地活用事業による市有地貸付料収入や新駅開業に伴う市税収入などの増加分を想定している。物価高騰時は給食費の改定を適切に行い、質の高い給食の安定的な提供を継続する。

問 市民の声を反映したバス路線網再編が実現したことは評価するが、重要なのは定着すること。再編後の評価検証をどのような指標及びスケジュールで行うのか。また、見直しが必要となった場合の対応方針を問う。

答 公共交通に関する満足度など、具体的な評価指標は箕面市地域公共交通計画に定めており、令和12年度の目標値を評価指標として設定、見直しが必要となった場合は、市民・交通事業者の意見を聞きながら、協議会などで検討する。



他の 質問事項

- 基金活用の判断基準
- 市債の増加と起債判断の考え方
- 市債残高の将来の見通し
- ボートレース事業からの繰入金に対するリスク管理
- 新市立病院整備費の財源管理
- 図書館夜間開室の評価手法
- 防犯カメラ更新の地域負担の公平性
- 交通格差是正策の持続性
- AIオンデマンド交通「のるーと箕面」の採算目標
- 消防拠点整備の効果検証
- 林野火災・新型火災への備え

など

代表質問

大阪維新の会

尾崎 夏樹(質問者)
久野井 優子、吉田 栄美子、神代 繁近、山根 ひとみ



市制施行70周年と「本のまち箕面」
「文化・芸術のまち箕面」

問「本のまち箕面」の取り組みに際しては、図書館の貸出冊数の日本一をめざす中、子どもたちにも本に親しんでもらうべく、学校図書館との連携や、学童保育室も含め市内各所の蔵書増に取り組みられることを希望するが、見解は。

答「箕面・世界子どもの本アカデミー賞」の開催や小学生・中学生向けブックリストの共同作成、学校図書館に所蔵がない場合に公立図書館が貸し出すなど、引き続き、公立図書館と学校図書館が密に連携し、子どもの読書活動を推進する。

問「文化・芸術のまち箕面」の取り組みに際しては、例えば西南地域にある瀬川踏切の地下通路の「せいなん水族館」のように、公共物をキャンパスに見立てて子どもたちに絵を描いてもらう取り組みも参照されたいが、見解は。

答本事例は成功例と考えるが、公共物の壁面などにペインティングをする場合、作品の維持管理や使用後の原状復帰、本市の景観計画との整合などの課題がある。今後、丁寧に課題整理をしながら、実現可能性について検討していく。



他の
質問事項

- 小・中学校の給食費の無償化
- 水泳授業の民間委託
- 中学校の部活動の地域展開
- 教員の働き方改革
- AI英語学習教材の導入
- 布ヶ池跡地の活用
- 箕面駅前の整備
- 新市立病院の整備
- 公共交通の整備
- 災害に強いまちづくり
- 自治会の加入率向上
- 水道事業の統合の効果
- 行財政改革と新改革プラン
- パートナーシップ宣誓証明制度の導入効果

など

市民クラブ

増田 京子(質問者)
牧 馨、浦川 倫子、中西 智子



多様な市民に寄り添い、市民と
ともに進めるまちづくりへの提案

問市は2026年度、パートナーシップ宣誓証明制度を導入しようとしている。私たちが提案してきた施策が一步前進した点については大いに評価する。その上で、本制度導入の目的と基本理念について市の考えを問う。

答人権を尊重するまちづくりを進める本市の姿勢を改めて示すとともに、当事者の利便性向上をはかることを目的とし、多様な生き方や家族の在り方を尊重し、市民一人ひとりが自分らしく安心して暮らせる社会の実現をめざしている。

問情報公開の在り方において、開示請求よりも市民や職員の事務手続きの負担が少なく、市民の知る権利にもつながる情報提供やホームページ上での自発的な公表(オープンデータや予算書、契約情報の公開など)の位置付けを問う。

答情報公開条例に基づいて情報の提供と公表を行うことは、市民の市政への参加の促進と市政の公正な運営を確保するもので、開示請求と相互に補完し合う関係にあると考えており、引き続き適切な情報の提供と公表に努めていく。



他の
質問事項

- 2026年度における国の地方財政対策計画と市施策の取り組み
- 桜ヶ丘浄水場改修事業費約35億円の内訳と災害時の対応
- 市立病院の現状と課題
- 保育料の利用者負担に関わる公平性の問題
- 多様な学びへの見解
- 栗生外院大畑の開発の課題
- 緑被率*への見解
- 農地の現状への危機感
- アートのまちづくりと都市コンセプトなどとの整合性
- 会計年度任用職員への経験給の必要性

など

公明党

楠 政則(質問者)
岡沢 聡、田中 真由美



「暮らしやすい」が叶うまちへ

問本市初の施設一体型公立認定こども園の整備は、単なる施設改修ではなく幼児教育・保育の新たなモデルを示す象徴的事業。子ども・保護者、そして保育士が誇れる園とすることが必要だが、妥協なき整備に向けた市長の決意を問う。

答せいなんこども園は、本市初の0歳から5歳児までを対象とした施設一体型の公立幼保連携型認定こども園として、より良い保育環境の実現に全力で努めていく。とよかわこども園についてもしっかりと体制づくりや準備をしていく。

問箕面船場阪大前駅周辺の「勤の空間」に対し、布ヶ池跡地周辺は暮らしの質を高める「日常の空間」と位置付け、滞在性の確保、可変性の確保、生活政策との接続の3点を基本計画段階から取り組むべき。整備について市の見解は。

答地域の貴重な財産である布ヶ池跡地周辺は、緑あふれる広場として整備したいと考えている。令和8年度策定の基本計画の中で最適な運営手法や制度活用を検討し、地元の声を丁寧に伺いながら、地域に調和した活用をめざしていく。



他の
質問事項

- 産後ケア事業の課題改善
- AI英語学習教材導入による効果検証方法と今後のビジョン
- 自習室の市全域展開
- アートのまちづくり事業の継続的発展の考え
- 市制施行70周年記念を契機とする図書館利用者の増加戦略
- アーバンスポーツの充実
- 「書かない窓口」の整備方針
- 包括連携協定企業との実行的連携による市民ニーズ把握
- 災害時の食の提供体制
- 事前防災強化のための感震ブレイカー設置助成制度の創設

など

自民保守の会

藤田 貴支(質問者)
竹内 洋人、牧野 寿美、木下 伸雄



誰もが住みやすい活気あふれるまちへ！

問箕面駅前は観光客の滞在時間が短いことや、みのお本通り商店街への誘客が課題だが、(仮称)新みのおサンプラザ1号館1～3階の公共床部分を観光と商業を結び拠点として整備することで、どのような効果が見込めるのか。

答同館の整備により、商業施設や子育て交流スペースなどが目的化され駅前来訪者が増加。交流・活動により滞在時間も延伸し、地域の商業施設との連携イベント開催で商店街への回遊性を向上させ、駅前地区全体の活性化をはかる。

問オレンジゆずるバス青ルートの見直しによる箕面萱野駅への接続は高く評価する。一方、止々呂美・箕面森町住民への高齢者専用定期券「はんきゅうグランドパス70」購入助成では、どのような利用を想定しているのか。

答例えば箕面森町から箕面萱野駅まで利用の場合、1年定期だと週に1往復程度で購入者に十分メリットがあり、移動に係る経済的負担の軽減や交通格差の解消、外出促進による健康寿命延伸の一助になることなどを目的としている。



他の
質問事項

- 市長のSNS発信方針と市民の声の政策反映状況
- 箕面版スクールロイヤーの現状と効果
- 小野原地区に子育て支援センターを整備する理由と利用者数の見通し
- 第六中学校長寿命化改修の交付金見通しとスケジュール
- 学校給食費無償化の予算内訳と国基準との差異
- 箕面市街路樹マネジメント計画の内容と経費削減効果
- AIオンデマンド交通「のるーと箕面」の課題と今後の方向性

など



賛成・反対が分かれた議案

採決に付された45議案のうち、
下記以外の議案は、全員賛成で可決しました。

議 案 ○：賛成　×：反対		政策会派・ 議員名	大阪維新の会					市民クラブ			自民保守 の会			箕面 政友会			公明党		箕面の 未来を ひらく会		日本 共産党		議決 結果	
			久 野 井 優 子	吉 田 栄 美 子	尾 崎 夏 樹	山 根 ひ と み	神 代 繁 近	牧 倫 馨	浦 川 京 子	増 田 智 子	中 西 智 子	竹 内 洋 人	牧 野 寿 美	木 下 伸 雄	藤 田 貴 支	高 橋 竜 馬	大 脇 典 子	中 嶋 三 四 郎	楠 政 則	岡 沢 聡 悟	桃 山 秀 生	武 智 真 実		村 川 い ず み
令和8年度 当初予算	令和8年度 箕面市一般会計 予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
	令和8年度 箕面市特別会計国民健康保険事業費 予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
	令和8年度 箕面市ボートレース事業会計予算	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
大阪広域水道企業団との統合に向け、企業団の規約を変更・協議する議案	大阪広域水道企業団規約等の変更に関する協議の件	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
子ども・子育て支援金制度の創設に伴う規定などを定める改正	箕面市国民健康保険条例改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決
税制改正に伴う所得段階の移動を改正前と同様にする特例と保険料の減免の特例を設ける改正	箕面市高齢者等介護総合条例改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決

議長（公明党：田中真由美）は採決には加わりません。

～このような理由で賛成・反対しました～

本会議における議案の採決に当たって、
賛成・反対の意見表明を行いました。
主な内容をお知らせします。

可決 令和8年度 箕面市一般会計予算

福祉や教育、道路・公園の整備などに充てる一般会計の当初予算。歳入歳出予算総額708億8,000万円、桜井駅南改札口等設置支援事業などの継続費、一般廃棄物処理計画策定事業などの債務負担行為 他

賛成 ●反対理由は本予算を否定する根拠には当たらないと考える。マイナンバーカードの定着と丁寧な対応により利便性を高め、福祉では現場への重点投資により持続可能な体制を構築するものである。本市がさらに誇れるまちへと進化する展望を見いだせた施策も評価し賛成。（公・楠）

賛成

●当初予算は、公の施設の委託料における適正な人件費の考え方、監査制度の在り方、福祉施策や市民参画視点の欠如などに課題があるが、一歩前進した施策も多数あり、総合的に評価し、予算執行と成果については、議会として厳しく検証していくことを申し添え、賛成。（市・中西）

反対

●子どもや保護者の納得がないまま部活動地域展開を押し進め、箕面子どもステップアップ調査による競争と管理の教育を改めるべき。大型商業施設開業に伴う渋滞緩和対策が不十分。障害者減免制度継続と、平和と人権が守られ誰もが安心して暮らせる市政を求め反対。（民・金森）

可決 令和8年度箕面市 ボートレース事業会計予算

モーターボート競走開催業務などの事業を経理する公営企業会計の令和8年度当初予算。総事業費661億4,894万円。一般会計へ20億円繰り出し、新市立病院の整備に関する事業へ充当する。

賛成 ●ボートレース事業は本市財政を支える重要な財源であり、財政安定と市民サービス維持に寄与するもの。また、ギャンブル依存症対策にも取り組んでおり、今後も健全な事業運営を求めた上で、本予算に賛成。（維・久野井）
●法律の厳格な基準に準拠した運営によって得

賛成

た収益は多くの社会貢献事業に充当されており、ギャンブル依存症対策も業界をあげて率先して取り組まれている。本市の発展に不可欠な財源として、今後も健全な運営を望む。（政・中嶋）

反対

●本予算は、若者やファミリー層などへの利用促進をはかる内容を含んでいるが、その方向性に強い懸念がある。ギャンブル依存症対策について業界任せでなく、売り上げの恩恵を受ける自治体として主体的に取り組むべき。（市・牧）
●市が主体となりギャンブル事業を運営し、収益を得る構造は「市民の福祉の向上」が使命の行政の在り方として適切なものか。財政運営は重要だがその手段は問われるべき。より健全で持続可能な財源の在り方へ転換すべき。（民・村川）

可決 大阪広域水道企業団規約等の変更に関する協議の件

本市水道事業が同企業団へ統合するに当たり、大阪広域水道企業団規約の「企業団の共同処理する事務」に令和9年4月から3団体（箕面市、泉大津市、門真市）を追加するもの。

賛成 ●昭和26年開始の本市水道事業は管路の老朽化が課題だが、整備は料金の値上げに直結する。同企業団に統合することで、安全な水を安定的に安価で供給できるため賛成。（維・吉田）
●大幅な値上げが避けられない中、安全な水を安定的かつ可能な限り低廉な料金で届けるため

賛成

の最適な手段が同企業団への統合。これまでのプロセスや説明も適切であり賛成。（政・中嶋）

反対

●同企業団への統合後は後戻りが困難になる上、災害時における最終的な判断を同企業団が行うことになる。また、府域一元化の時期や将来像が不透明であることから反対。（民・村川）
●同企業団の経営は年々悪化しており、統合により可能とされてきた水道料金の値上げ幅の抑制や値上げ時期の先延ばしが担保できない中、統合を進めるのは拙速であり反対。（市・牧）
●本議案に対する継続審査の動議が否決され、重要事項の明文化がなく、民間企業の参入やウォーター PPP*への懸念がある上、市民の声が反映できなくなる恐れがあり反対。（市・浦川）

般質問

～市政のここが聞きたい～

市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。主な内容をお知らせします。

全ての一般質問を
動画で視聴できます

箕面市議会

検索

動画の内容は公式記録ではありません。



誰もが安心して集える 公園づくり

大阪維新の会
久野井 優子



- 問** 近年では、社会環境の変化などから多様な利用者を想定した公園づくりが各地で進められている。インクルーシブな遊び場、健康づくりの場など、多様なニーズがある中、公園整備の在り方は。
- 答** 自然との触れ合いや地域住民との交流、ウォーキングなどの身体活動、子どもたちの遊び場や災害時における避難地など、近年の地域の多様なニーズに応じた公園となるよう整備を進めている。
- 問** 公園リニューアルが進む中、利用者である市民に整備内容を分かりやすく伝えるための工夫や、説明会などで寄せられた市民意見をどのように反映しているのか。公園整備の工夫や進め方は。
- 答** いただいた意見は公園全体のゾーニングや施設の配置に反映している他、意見収集は可能な限り現地で行い、更新する遊具の配置など、具体的に共有することで分かりやすい説明に努めている。

火災予防に向けた 5S活動の市民への周知

箕面の未来をひらく会
武智 秀生



- 問** 5Sとは整理・整頓・清掃・清潔・躰の略称であり、火災予防の啓発活動にも効果的。必要なものを選別、適切な場所に配置、避難経路を確保し、近隣への延焼を防ぐことや、コンセント周辺の埃の除去の習慣化などが大切。これら5S活動に対する市民への理解、周知などへの取り組み方は。
- 答** 今後、ホームページやチラシなどの活用によって周知する。地域での防災講話、全戸訪問、希望するかたへの別途訪問などを通じて、市民に分かりやすく、整理整頓や清掃などの日常の習慣が出火防止につながることを具体的に、より丁寧に指導し、5S活動に対する理解の促進と実施につなげる。



本市における産業振興と 女性の起業支援

大阪維新の会
吉田 栄美子



- 問** 令和7年度の施政及び予算編成方針にある、船場地区の産業集積・スタートアップ支援拠点化などをめざす方針について、現状と今後の道筋を問う。
- 答** ハブ拠点の創出による地域の活性化をめざし、地域全体とベンチャー企業のつながりを演出する可能性や方向性について研究を進めている。
- 問** 子育てを経て新たに起業を志す女性を支援することは、子育て世帯の流入促進の観点からも重要であると考えますが、市の見解を問う。
- 答** 現在、女性の創業に特化した支援制度はないが、セカンドキャリアのチャンスが広がることは子育て環境の充実につながると認識している。



AI時代、 学校の役割とは何か

自民保守の会
木下 伸雄



- 問** 生成AIの登場は教育の前提を変えつつある。知識の習得以上に、人間ならではの力を育むことが重要である。AI時代を見据えたときに、本市の学校教育ではどのような力の育成をめざしているのか。
- 答** 思考力、判断力、AI時代に必要とされる批判的に考える力、自ら問いを立てる力に加え、思いやる心や、コミュニケーション力、行動力、洞察力などの人間的資質である非認知能力を育んでいく。
- 問** AIが瞬時に翻訳し、言語の壁が低くなり、「何語で話すか」以上に「何を語るか」がより重要となる。AI技術が急速に発展する中、今後本市における英語教育が担う役割は何か。
- 答** AIを活用し、個別最適化された学びや、実践的なコミュニケーションの機会を提供。さらには、他国の多様な価値観を学ぶ場となるなど、世界とつながる力を育む上で、重要な役割を担う。

日本語支援が必要な 児童生徒への課題

市民クラブ
中西 智子



- 問** 日本語指導が必要な児童生徒は10年間で約1.9倍に増加し、法の制定により日本語教育の推進は地方自治体の責務となった。日常会話は可能でも授業における学習言語の理解が難しい場合がある。各教科の授業理解につながる支援の課題を問う。
- 答** 文部科学省が示している日本語指導と教科学習を結びつけた指導モデルの活用は十分ではないが、児童生徒の状況に応じて教科学習の指導と併せた日本語学習や、日本語指導教員による特別の教育課程を実施している。
- 問** 保護者と学校間の日常的な連絡には、総合学習支援ソフトを用いているが、日本語支援が必要な保護者とのコミュニケーションにおける課題を問う。
- 答** 翻訳アプリを使用した個別対応では不十分だと認識しており、多言語翻訳システムなど他のツール活用を検討している。

デジタル教科書導入を 見据えた本市の方針

自民保守の会
竹内 洋人



- 問** 国において、デジタル教科書を正式な教科書として位置付ける制度改正が検討されている。さまざまな活用が想定される中、本市としてどのような基準や考え方にに基づき活用の判断を行うのか。
- 答** 紙教科書と同一内容をデジタル化した学習者用デジタル教科書が一定基準のもと、使用できる制度が導入されたため、英語、算数・数学へ段階的に導入する国の方針に沿って、検証しながら進める。
- 問** デジタル教材を活用することによる教育効果だけでなく、児童生徒の健康面や学習習慣へ与える影響について、一定の指標や目標設定からみえる成果や課題をどのように検証していくのか。
- 答** 効率的な活用方法や導入時の留意点が記載されている文部科学省のガイドラインに基づき、国の最新の動向を注視し、学習理解、意欲の変化や健康面などの調査を行い、成果と課題を検証していく。

公園の公共性と 森林整備

市民クラブ
牧 馨



- 問** 公園内でキッチンカーが営業する場合の公園使用料は1日1,000円であるのに対し、市民団体などが利用する場合は1日3,000円程度の使用料が必要となる現状について市の見解は。
- 答** 公益上その他特別の理由がある時は使用料の減額や免除が可能であり、自治会などが主催するイベントでは基本的に無償としている。市民利用よりも商業利用が安価に設定されているわけではない。
- 問** 箕面市森林整備計画では、J-クレジット制度*の活用に触れられていない。本市でも本制度を取り入れることで、林道整備などを行う財源として活用できると考えるが、市の見解は。
- 答** 本制度は、森林所有者などが作成する森林経営計画に基づき、中長期的な視点で持続的に森林を管理経営することが前提となっており、本市では該当者がいないため活用には至っていない。

一般質問

防災力の強化と自治会・地域活動の活性化

自民保守の会
まきの すみ
牧野 寿美



- 問 災害時の避難環境向上や、多様な避難ニーズへの対応が重要となっている。衛生面の確保に向けた温浴施設、分散避難・ボランティア拠点として活用可能なキャンプ場、安全確保に向けた警備会社など、民間事業者との災害時協定締結の可能性は。
- 答 大規模災害時、特に避難所のQOL向上に関しては、行政だけで全てを整えることは困難。プライバシー確保や衛生環境の維持など、避難所運営に必要である多様な支援を確保するため、さまざまな業種の民間事業者と災害時協定の締結を進める。
- 問 令和6年度実施の自治会向けアンケートにおいて、加入促進策の一つとして例示された「自治会ポイント制度」はどのようなものか。
- 答 他市事例を参考に、自治会加入時や活動時にインセンティブとしてポイントを付与し、市の燃えないごみ袋などと交換できる制度を想定している。

本市の平和教育と憲法が生きる社会

日本共産党
かなもり
金森 いずみ



- 問 本市ではさまざまな市民団体が平和学習などに取り組んでいるが、地域社会での活動を通じて平和運動を広げるために、市として援助を行うことについての課題を問う。
- 答 市が後援や実行委員会に参加するなどの支援を行っている事例はあるが、市民が主体となった人権・平和の取り組みが数多く発信されるよう、市民活動との連携は今後も検討すべき課題である。
- 問 憲法によって保障されたさまざまな権利を保障し、憲法を生かし自らの生活をより良くするための力を育むため、市として学校教育や社会教育で、今後取り組んでいくことは何かを問う。
- 答 学校教育では、一人ひとりの人権が尊重される環境の中で、学びに向かう力などが培える人権教育を、社会教育では、市民の学習活動などを支援し、市民や地域との協働による人権教育を推進する。

ライフプラザのトイレ改修と今後の活用策

箕面政友会
おおわきの りこ
大脇 典子



- 問 健康・福祉・医療に重きを置くライフプラザに、いまだに和式トイレが残っている。ライフプラザのトイレは、市内の他施設よりもいち早く改修が必要と考えるが、市の見解を問う。
- 答 令和8年度予算要求の際、緊急かつ重要度の高いエレベーターなどの更新を優先したことで、希望していたトイレ改修の優先度を下げざるを得なかった。引き続き、トイレ改修に向け取り組む。
- 問 今後、市立病院跡地には学校が建設され、近隣の布ヶ池跡地の整備では大型の広場ができる計画だが、ライフプラザはどのように活用していくのか、市の見解を問う。
- 答 周辺地区や施設との空間的・機能的な連携を強化し、市民の暮らしの質を高める多世代交流や健康づくり推進のため、ライフプラザもその一翼を担う施設として活用する。

農地利用最適化

大阪維新の会
かみしろ しげちか
神代 繁近



- 問 現在、全国的に農業の担い手不足が深刻化し、効率的な農地の活用や、担い手の育成が課題となっている。農業委員会の業務として農地利用最適化の推進が位置付けられているが、本市の現状は。
- 答 耕作放棄地などの課題へ対応するため、農業委員会では農業公社支援や、「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」を定め、遊休農地解消などに取り組んでおり、一定の効果を発揮できている。
- 問 農地法の運用では、農地取得要件を満たせない個人など、制度の「はざま」に置かれるかたがいる中、特定農地貸付制度を活用した新たな取り組みが必要と考えるが、市の見解は。
- 答 当該制度における取り組みはないが、市民農園の利用歴が2年以上のかたを、研修受講を条件に農地法の要件を満たす者として取り扱うなど、柔軟な対応を行うことで、人材確保に努めている。

本市の教育行政の未来

大阪維新の会
やまね
山根 ひとみ



- 問 教育現場では学校教育自己診断アンケート※の実施により児童生徒の保護者、教職員の声を把握しているが、それらの声をどのように教育施策へ生かしているのか、見解を問う。
- 答 学校は、アンケートの結果について分析し、学校だよりなどで保護者に周知するとともに、教育委員会は、過去10年間の結果を経年比較し、教育施策の充実につなげている。
- 問 「子育て・教育 世界一のまちへ」という政策には子どもの顔が見えない。自治体間の評価順位などにとらわれず、「誰もが世界一の存在」という自己肯定感を高める教育を望むが、市の取り組みは。
- 答 学校行事で児童生徒が責任を持って自分の役割を果たせるよう促す他、学校生活の中で児童生徒の考えに寄り添いながら、望ましい行動を積極的に評価し、自己肯定感の向上につなげている。

本市の保育提供体制と保育料

市民クラブ
うらかわ のりこ
浦川 倫子



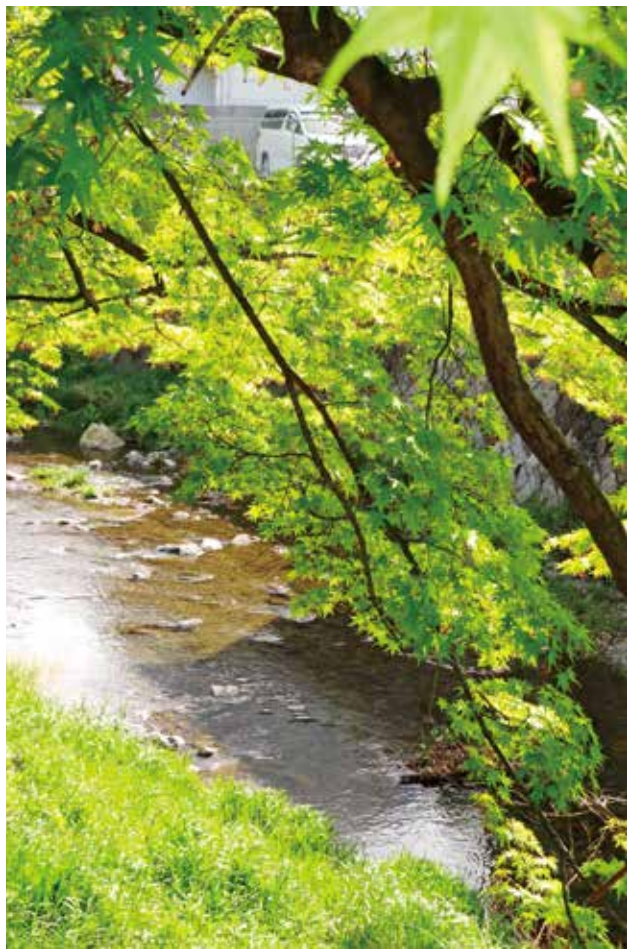
- 問 多子世帯の保育料減免で、今まで自動算定により、第2子は半額、第3子は無料であったが、申請が必要になるのは子育て政策のサービス後退では。
- 答 申請による補助金交付となり、市民にお手数をかけるが、これまでと同様に保育料の負担軽減を受けていただくもので、サービスの後退ではない。
- 問 第五次箕面市子どもプランの「就学前保育・教育サービスの提供量」について、保育提供体制を実態と差異がないよう整えるため、小学校区ごとに必要数、提供数、申込数、保留数を精査する学区別計画の策定を求めるが、市の見解は。
- 答 本市では就学前施設には通園区域がなく、施設整備に詳細な区域の制限を設けることは効率が悪い。ため、市域を細分化せず一つの区分とすることで、より効果的なサービス提供をめざしており、現行プランの策定手法を変更する予定はない。

補聴器購入助成のモデル事業を実施すべき!

箕面政友会
なかじま さんしろう
中嶋 三四郎



- 問 これまでも請願が出されるなど議論のあった加齢性難聴者に対する補聴器購入助成制度の議論について、フレイル予防のパッケージ施策のひとつとして検討する必要があると考える。ニーズ・実態把握を行い、助成内容及び効果を検証するため、改めてモデル事業の実施を求めるが、市の見解は。
- 答 状況把握のため、市の介護予防教室などの参加者へ聞こえや補聴器の使用に関するアンケート調査を実施。補聴器の活用前のみならず、活用後も含めた丁寧な支援が必要であると認識しており、令和8年度に事業フレームを検討するとともに、モデル実施の在り方など、具体的に検討していく。



議員まちある記

今回の取材担当：牧 馨、楠 政則、高橋 竜馬

vol.38

議会だより編集委員が、
市内の注目スポットなどを取材し、
箕面の魅力をお届けします。

箕面公園昆虫館の企画展に行ってきました



早春のやわらかな空気の中、滝道を歩き箕面公園昆虫館の企画展「先っちょ展(ディティールに宿る多様性)」を訪れました。つの、あご、はね、とげなど昆虫の“先っちょ”に注目した世界中の昆虫標本が並び、その多様で精巧な姿に思わず見入りました。生体展示では迫力あるヘラクレスオオカブトが印象的で、放蝶園では色とりどりの蝶が優雅に舞い、まるで別世界のようなでした。「日本三大昆虫生息地」とも称された箕面の自然の豊かさを改めて実感。身近な自然と学びに触れられる場所として、みなさんもぜひ一度足を運んでみてください。



みのお市議会だより
令和8年(2026年)6月1日発行

vol.143

次回定例会のお知らせ

6/1～6/23 開催予定

6 June 10時開会 2026

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3 文教	4 民生	5 建設水道	6
	本会議①		常任委員会			
7	8 総務	9	10	11	12	13
	常任委員会					
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
	本会議②	本会議③				

①議案説明など ②討論・採決、一般質問 ③一般質問
(進行状況により変更となる場合があります)

動画でCheck!

議会の模様を動画で視聴できます。
動画の内容は公式記録ではありません。
※本市議会は、YouTube
上の広告に一切関係が
ありません。

箕面市議会 検索



タッキー-816でCheck!

一般質問や代表質問などの録音を、
ラジオ(FM81.6MHz)・スマホ・パソコン
で聴取できます。

タッキー 816 検索



点字と声の 議会だより

点字と声(デージー版)による議会だよりも発行しています。
視覚障害のあるかたで希望される場合は、議会事務局へご連絡ください。



箕面市 統一キャンペーン



次号は、令和8年8月15日発行予定です

市議会の詳しい情報は、箕面市議会ホームページへ <https://www.city.minoh.lg.jp/shigikai/index.html>

編集・発行／箕面市議会広報委員会
〒562-0003 大阪府箕面市西小路4-6-1
TEL(072)724-6705 / FAX(072)724-1568